

第 143 回 技術懇談会の講演記録

[1] 日時・場所 2024年9月26日(木) 13:30~16:00 オンライン (Zoom) により実施

参加者人数 25名

[2] 講演テーマおよび講演の記録

演題 「ある化学工場における地震津波対策等リスクマネジメントの事例のご紹介」 13:30~14:10
(質疑応答を含む)

講師 四十物 清 氏 SCE・Net 会員 (元 花王・ダイセル)

要旨 本地震津波対策は、2011年の東日本大震災で被害を最小化することができ、周辺工場より大幅に早期の再開を実現した。また、本取組は、日本化学工業協会や高圧ガス保安協会等から高い評価を受け、表彰されるとともに日刊工業新聞等にも大きく取り上げられた。詳細は、講演時に説明する。熊本地震、能登半島地震、宮崎地震と地震活動が活発化しており、南海トラフ巨大地震、首都直下地震等が目前に迫っている現在、聴講者の参考になれば幸いである。

演題 「脱炭素社会に向けたプラズマ化学プロセス—CO₂資源化触媒プロセスへの応用」 14:10~15:30
(質疑応答を含む)

講師 野崎 智洋 氏 東京工業大学工学院機械系 教授

要旨 プラズマを利用して温室効果ガス (CH₄, CO₂) を水素, 合成ガス, カーボンブラックなど有用物質に変換する反応を対象に, 大気圧プラズマ技術の基礎と応用を紹介する。とりわけ誘電体バリア放電は, オゾン合成やCO₂レーザーなど低温で動作させる非平衡プロセスを実現する方法として産業応用されている信頼性の高い技術である。プラズマは再生可能エネルギーとの接続性が高いことに加え, 熱依存型の従来システムから脱却した新たな低温化学反応システムの創出が期待できることから, 脱炭素を実現する新しいGX技術として注目されている。

[3] 懇親会 15:30~16:00

講演会終了後、講師の方を交えて、情報交換を実施した。

(記 山本一己)